

道徳科学習指導案（第1学年）

令和2年1月30日（木）1限
授業者 津田真由美

- 1 主題名： 町内会デビュー
- 2 内容項目：A（1）自主，自立，自由と責任
- 3 本時のねらい：主人公の他律的な態度から、自主的に判断し自律的に行動した姿を通して、自主的に考えて自分を律して生きていこうとする心情を育む。

	生徒の学習活動及び発問・予想される生徒の反応	・留意点 ○評価【観点】（方法） ※手立て	
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の作業やボランティア活動に参加した経験について発表する。 ・溝掃除・公民館の文化祭・祭り ・溝掃除に参加するように頼まれたら、あなたは参加します。参加しませんか。 ・参加します < 参加しません 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の活動にどのようなものがあるかを知る。 ・それぞれの理由を聞く。 ・それぞれの人数を板書しておく。 	
展開	めあて：あなたが明の立場だったら、町内会作業に参加しますか。		
	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を読む。 ○ しぶしぶ腰を上げたときの明の気持ちは、どうでしたか。 <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ大人に交じってやらなくちゃいけないの。 ・大人ばかりの中で嫌だ。 ・部活に行きたいのに。 ・お母さんが仕事を休んでいけばいいのに。 ・人ごとのように思っているお母さんに少し腹立っている。 ○ 「ザクッ、ザクッ」と明が草を刈り始めたのはどうしてですか。 <ul style="list-style-type: none"> ・皆に紹介され、周りを笑顔で囲まれたから。 ・草刈りのコツを教えてもらったから。 ・褒められてやる気が出てきたから。 ・刈り取った跡がすっきりして、気持ちが良くなってきたから。 ・一生懸命していると、嫌だと思っていた気持ちが薄れてきた。 ◎ 「よし。」という明の一言には、どんな気持ちが込められていますか。 <ul style="list-style-type: none"> ・お年寄りには足元が良くないから、中学生の自分がやろう。 ・重労働は自分がやった方がいいな。 ・草や枝を運んだ方が役に立つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意志ではなく、仕方なく参加しなくてはいけない明の心情を抑える。 ・周りの人の中で作業をする中で、草刈りをすることに気持ちが入っていることに気づかせる。 ・周りの様子を見て、自分が何をしたらいいかを考え、自分から作業に関わろうとしている気持ちに気づかせる。 ・グループで考えをシェアする。 	
終末	やって見たら、自分にできることがある 人の役に立つって気持ちがいい 自分から進んですることは気持ちがいい 参加してよかったなあ 自信がついた	<ul style="list-style-type: none"> ○ どんな気持ちで、明は背筋を伸ばして、大股で学校に向かったのでしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> ・人の役に立てて、自信がついた。うれしい。 ・自分にできることは、これからどんどんやろう。 ・一緒にしんどいことをした地域の人に、あいさつもちゃんとしよう。 ○ もしあなたが明の立場に立ったら、参加しますか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見と理由を数名発表する。 ・明の気持ちの変化を通して、自分の立場で考えたり思ったりしたことを書く。

